

訪問

Vol. 184

クヨタ精工株式会社

碧南市汐田町丁目二十六番地

今回は、碧南市汐田町にあるクヨタ精工株式会社をお訪ねして、代表取締役社長の鈴木輝彦氏、専務取締役総務部長の岩間己喜氏、取締役営業部長の鈴木泰博氏から、同社の安全運転管理の取り組みについてお聞きしました。

- 社員数 78人
- 管理車両 15台
- マイカー通勤者 67人



鈴木泰博氏 鈴木輝彦氏 岩間己喜氏

交通事故ゼロを目標にルール遵守とマナーの向上を目指して

当社は、一九六三年昭和三十八年に碧南市で創業し、碧南と安城に工場を有した自動車部品をメインとした鑄造用中子（シエルモールド）を製造販売する企業です。中子は鑄物の空間部分を作るために使い、特殊な砂を金型にためて焼きます。鑄物が出来上がる中子は元の砂に戻されるため、一般の方の目に触れることはほとんどありません。

創業当時は、水道に使用する鑄鉄管用中子が主でしたが、モーターゼーシヨの潮流に沿って自動車部品の用途が増し、技術の最高峰と言われるモータースポーツ部品まで、愛顧いただいております。

時代と共に安全な品質、環境にやさしい企業のあるべき姿勢としてISO9001認証（二〇〇五年）、ISO14001認証（二〇〇八年）平成十九年度愛知ブランド企業認定を取得しています。当社の製品である中子特性（鑄物の空間部分を形成する）を想定した企業理念である「空間の追求」をして、六〇〇品種、年間一三〇〇〇トンの規模と技術を実績に高品質で安全な環境にやさしい製品をお客様に提供することで豊かな社会づくりに貢献してまいります。

一、活動方針

当社の安全衛生方針として「安全衛生は何よりも優先する」という決意に立ち人命尊重を基本に安全で働きやすい職場づくりを目指しています。

交通安全につきましては、昨年就業時間外ではありましたが、社員が人身事故で入院するという事例があり、今年には「加害事故ゼロ人身事故ゼロ」を目標に「社員一人ひとり交通安全に対する意識を高める活動」を推進して

ます。

二、安全運転管理、組織

社長を議長とした安全衛生委員会を組織して毎月委員会を開催しています。

交通事故の詳細報告や今後の事故防止について会社側組合側共通の問題として検討を進めています。また、安全運転管理者を中心に組合代表者と共にクヨタ精工マイカークラブを組織して交通安全意識の高揚とクラブ員の親睦を深めています。



三、推進事項

(一) 通勤車両登録

マイカー通勤希望者に対して運転免許証と車検証及び任意保険証の提出を義務付け、同時に通勤経路の確認を行っています。万の事故に対して会社側も速やかな対応が取れるように努めています。

(二) 交通安全立哨活動

毎月交通死亡事故ゼロの日にマイカークラブ役員が駐車場出入口で交通安全を呼び掛け、シートベルトの着用状態や運転姿勢などの確認を行っています。

(三) 交通安全教室

入社時の新人社員説明会において、通勤途上における交通安全教育を行っています。碧南警察署交通課や安全協会から発行される資料を活用し全社員に近隣の交通事故状況について朝礼等で説明し、また、ボスターのほり旗を設置して事故防止を呼び掛けています。

(四) 車両点検

管理車両については、運行状況や点検内容を記録に残し管理を行っています。通勤車両については、「車は、ハガキ四枚分のタイヤで支えられている」ということを運転者に説明して最も重要な空気圧を含めたタイヤの状態やブレーキ、ハンドルなど事故に直結する部分の点検を重点的に行うよう指導しています。

(五) マイカークラブ活動

マイカークラブ役員を中心に通勤時の立哨活動や、交通安全折願とクラブ員の親睦を深める会を年三回開催しています。

(六) 無事故無違反証明の取得

毎年二月に三年、五年、十年以上の無事故無違反の運転者について証明を申請し、十年以上無事故無違反運転者については、碧南市優良運転者に推薦をしています。また、若い社員を中心に〇〇日間無事故・無違反運動に参加し

交通安全に対し意識付けを行っています。

四、今後の方針

頻繁に交通事故が発生している交通事情のなか、事故を防止するために運転者一人ひとりが交通ルールを守り、事故を起こさないための予防運転を身につける必要があります。また、交通状況を見て歩行者自転車に対して、横断歩道手前で止まれるような運転マナーの向上も必要な時代です。このような認識のなかで交通安全意識を高め、交通事故を起こさないような活動を今後も続けて行きたいと考えています。

